



学校だより

平成30年6月29日

横浜市立高田中学校

7月号(第30-04号) Ⅸ : 591-4183 校長 福田 之男

第23回体育祭

6月17日(日)に第23回体育祭が本校グラウンドで開催されました。本来は16日(土)に開催の予定でしたが、15日から16日にかけて、雨天のため十分な準備ができないこと、体育祭当日に良好な状態で体育祭を実施するために、15日の午後に17日(日)への順延を決定しました。保護者の皆様、来賓の皆様、地域の皆様にはご心配をおかけしました。

16日(土)には、月曜日の授業を実施し、5校時終了後に準備が開始されました。テントを設置する生徒、ラインを引く生徒、杭を打ちロープを張る生徒など、分担された仕事を各部活動や委員会ごとにしっかりと取り組み、午後5時頃には準備が終わりました。

17日(日)は曇り空でしたが、7時過ぎより、係生徒が準備を開始し、予定通り9時に開会式が行われました。開会式の前には、今年も3年生が全員で円陣を組み、お互いの健闘を祈っていました。学年の絆を感じた瞬間でした。開会式後には、ラジオ体操が行われ、今年も全員そろった動きで、ラジオ体操も高田中体育祭の名物になったように思えました。競技は順調に進み、予定通り大きな事故もなく終了することができました。

高田中の体育祭では、「①ラジオ体操がしっかりとできる。②競技に最後まで真剣にしっかりと取り組むことができる。③応援席での応援がしっかりとできる。④係活動では、自分に任された仕事をきちんと行う。」といった高中生が今までに創り上げてきた伝統を今年度もしっかりと受け継いでい



ました。次年度も、一層素晴らしい体育祭ができるように頑張ってもらいたいと思います。

体育祭実行委員長 3年3組 泉館 りなさんのことば

皆さんの盛り上がりや用具などの準備、片付けの協力があり、委員会目標である「最高の体育祭にする」という目標が達成できたと思います。私は実行委員長として体育祭まで活動してきました。実際に活動してみると、委員長にならないとわからない大変さがたくさんありました。実行委員は最高の体育祭にするために、日々様々な活動を行ってきました。

放課後や朝の時間を使って、準備をしてくださった生徒や先生方、私はその光景を見て、実行委員だけでなく全員で創り上げているということが改めてよく分かりました。忙しい中、準備や作業をしてくださりありがとうございました。競技が始まると、予想以上の盛り上がりがあり、すごく活気がありました。また、学年種目は、各クラス当日まで様々な努力をしてきたと思います。結果も大事かも知れませんが、どのクラス、学年も大きな絆、団結を得ることができたのではないのでしょうか。

私は体育祭までの日々をとおして、仲間の大切さを改めて感じることができました。体育祭では日常で当たり前を感じていることも大きなことであると感じたと思います。皆さんにも体育祭で感じたことをぜひ忘れずに今後につなげていってほしいです。

一年生の皆さん、来年は後輩が入り、先輩をサポートする大切な役割が与えられます。仲間と助け合いながら、思い出に残る体育祭にしてください。

二年生の皆さん、後輩が入り、どんな場面でも先輩をサポートする二年生は大変だったと思います。しかし、来年は赤学年の皆さんが主役の体育祭です。悔いの残らぬよう、今年を超える最高の体育祭を創り上げていってください。

三年生の皆さん、一人ひとりが声を出し、クラスを超え、学年で団結できたと思います。皆さんにとって記憶に残る体育祭になっていれば幸いです。

平和について『知』、京都について『知』 ～充実した3日間の修学旅行！～

5月14日（月）～16日（水）、2泊3日の行程で3年生が修学旅行に行ってきました。

標準服で臨んだ初日のメインとなる活動は、広島での平和学習です。1年時より力を入れてきた平和学習。被爆後の痛々しい姿をとどめている原爆ドームを間近にしたとき、どのような気持ちで心がよぎったのでしょうか。そして、原爆ドーム近くの平和記念公園内、「原爆の子の像」前で平和集会。厳粛な雰囲気の中、「過去と真剣に向き合うこと」「お互いの個性を認め、身近の平和をつくること」

などを盛り込んだ『高中平和宣言』を行いました。

そして2日目は、班別タクシー研修。班ごとに相談したコースで京都市内の寺社仏閣等を巡る一日です。この日は京都三大祭りの一つである「葵祭」の当日。交通事情等も心配されましたが、各タクシー運転手さんの配慮等もあり、順調に研修を深めることができました。実際に目で見た金閣寺の光輝くまばゆい姿には、みな圧倒されていました。

2日目の夜には、狂言体験をしました。教科書などで学んだことのある狂言も、実際に同じフロアで見ると全員がその魅力に引き込まれていきました。真剣に見るからこそ、笑いをこらえきれない、という場面もありました。

最終日は、クラスごとに京都郊外へバス研修に出かけました。1組は大原三千院方面、2組は宇治平等院方面、3組は嵐山渡月橋方面で、それぞれ普段の学校生活とは違った形でクラスの親睦を深め、団結を高めることができました。



また、修学旅行と言え、何と言ってもホテルでの自由時間や新幹線車内での過ごし方も大きな楽しみの一つ。ホテルの交流部屋では、クラスも男女も隔てなく、みんなで一つのゲームに興じる姿も見られ、とても微笑ましい光景でした。この3日間で、男女仲の良さや学年としての仲の良さをあらためて実感した人も多かったのではないのでしょうか。

3日間を通して、天候にも恵まれ、やや気温が高く、体調面の心配はありましたが、大きな事故等なく、おかげさまで無事、全行程を終了することができました。今年の修学旅行のスローガンは、「知^ち～青い糸を編んでつなぐ、平和への架け橋～」でした。知識や考え方に触れ、『知る』ことはもちろん、ホテルや新幹線車内など一般社会で生活する上でのルールやマナーなどにも気を付け、充実感、達成感いっぱいの笑顔で帰ってくることができました。

学校・家庭・地域連携事業 実行委員会の開催

5月29日（火）の午後3時から学校・家庭・地域連携事業（以後、学家地連）実行委員会が本校図書室で開催されました。学家地連とは、学校・家庭・地域が連携し、それぞれが持つ教育機能を発揮することにより、次代を担う児童・生徒をはじめとする青少年が、自立心を持ち人間性豊かに育つことを

目的に、それぞれの地域の実情にあった事業を推進していくというものです。

当日は、昨年度の事業報告、決算報告、平成30年度の事業計画、予算が提案されました。学家地連の取組は、上記の目的をめざして多くの行事として行われます。その一つ、高田町連合町内会主催の「たかたの丘音楽会」は町内会のご理解とご協力により、今年度より本校学家地連の協力事業となり、6月10日(日)



本校体育館で行われました。音楽を通して地域の方々と児童・生徒が交流し、本校吹奏楽部も最後に出演し、会場を盛り上げました。半日と短い時間となりましたが、有意義な時間を過ごすことができました。これからも高田地区の子どもたちの健全育成にむけて、より良い連携へとなるよう活動していきます。

教育実習

6月4日(月)から22日(金)まで、本校の卒業生が教育実習を行いました。中学生だったときと学校の印象が大きく変化したようです。実習の感想を寄せてもらいました。

平成22年度卒業 藤山 香恋さん

素直で思いやりのある生徒さんに囲まれ、これ以上ないほど濃密で実りの多い3週間をおくることができました。かつて自分が座っていた机と椅子を前にして教壇に立つという経験は大変感慨深く、どこか不思議でもありました。



私の拙い授業に対し、先生方の温かく真摯なご指導を賜り、生徒さんの優しさに支えられながら学び過ごした日々は何ものにも代えがたい思い出です。生徒の皆さん、心と身体の健康と自分らしさを大切にこれからも頑張ってください。応援しています！！

平成23年度卒業 岸田 夏輝さん

6年ぶりに帰ってきた高田中学校で教育実習をさせていただいて、最も勉強になったことは、場の空気を操る能力が教師には必要だということです。人と関わることが多いからこそ「この教科を教えたいから」「子どもが好きだから」といった感情だけではなりきることのできない教師という仕事の奥深さを感じました。高田中学校の先生方のように、生徒のことを多角的に考えて接することのできる教師になりたいと思いました。

